

## 不変質量法による中性子ドリップライン核 $^{13,14}\text{Be}$ の研究

近藤 洋介 氏  
(重イオン核物理研究室)

近年中性子過剰核領域において中性子ハローや魔法数消失など、さまざまな特異構造が報告されている。本研究の対象である $^{13}\text{Be}$ , $^{14}\text{Be}$ は中性子ドリップラインに位置しており、極端に中性子過剰な原子核である。これらの核は粒子崩壊の閾値が低いため、核分光を行うためには非束縛状態の観測が必要となる。

我々は液体水素標的を用いた $^{14}\text{Be}$ の分解反応に不変質量法を適用し、 $^{13}\text{Be}$ , $^{14}\text{Be}$ の非束縛準位を観測した。講演では得られた実験結果についての報告・議論を行う。

Jan. 22 (Tue), 2008 13:30-  
RIBF Conf. Hall, RIKEN

*The seminar will be given in Japanese*  
*Contact: RIBF Nuclear Physics Seminar Organizer*  
*[seminar@ribf.riken.jp](mailto:seminar@ribf.riken.jp)*  
*<http://ribf.riken.jp/~seminar>*